

# 学校再編だより

滝郷小学校

— 第6号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和7年1月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

## 滝郷小学校地域検討会議の検討結果

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を1校に統合することは「賛成」

統合校の位置について、嚶鳴小は「反対」

旧海上中跡地は「賛成」「反対」の意見が分かれた

12月19日（木）午後6時30分から海上公民館第一研修室において、第5回滝郷小学校地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、滝郷小学校地域検討会議としての検討結果をまとめた報告書（案）について最終確認をしました。

旭市学校再編基本方針に対する地域の検討結果として、3校の統合自体は賛成だが、嚶鳴小を活用することは反対、旧海上中跡地を活用することは賛成の意見と反対の意見が分かれる結果となりました。

そのほか委員からの提案で、現海上中学校の北側農地が統合校の場所として望ましいという意見や中学校の再編を並行して進めてほしいという意見が多数ありました。

今回の会議をもって、滝郷小学校地域検討会議は終了となります。

今後は、各地域検討会議の代表者からなる代表者会議を設置し、それぞれの検討結果を持ち寄り、最終的な「再編の可否」「統合校の位置」等について審議します。

### ※ほか2校の地域検討会議の検討結果

#### 【鶴巻小学校】

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を1校に統合することは「賛成」

統合校の位置について、嚶鳴小は「反対」、旧海上中跡地は「概ね賛成」

#### 【嚶鳴小学校】

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を1校に統合することは「賛成」

統合校の位置について、嚶鳴小と旧海上中跡地のいずれも「賛成」「反対」の意見が分かれた

第1回代表者会議開催予定 日時：令和7年1月27日（月） 午後6時30分～

場所：海上公民館 第一研修室

※この会議は傍聴することができますが、会場内のスペースの関係により定員を10名とします。あらかじめご了承ください。

## 【検討の経緯と理由】

滝郷小学校は、明治18年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれている学校であるが、近年の少子化で児童数は令和6年度には86名となり、複式学級が発生することが現実的となっている。

会議の中では、滝郷地区に学校を残したいという気持ちがある一方で、複式学級を避けるために統合はやむを得ないという意見が多数あり、鶴巻小学校、滝郷小学校、嚶鳴小学校を1校に統合することに「賛成」となった。

### 統合校の位置：嚶鳴小学校

複式学級を踏まえてスピード感を考えると、嚶鳴小学校の敷地の拡張や安全対策などの然るべき対策を取る条件付きであれば賛成できるという意見があった一方、嚶鳴小学校を統合校として活用するにはやはり敷地が狭く、滝郷や鶴巻の子ども達が肩身の狭い思いをする。また建設費用以外のメリットが何も感じられず、駐車場がしっかり確保できる場所で新築することが望ましいという理由などから、統合校の位置を嚶鳴小学校にすることには「反対」となった。

### 統合校の位置：旧海上中学校跡地

旧海上中学校跡地を統合校の位置とすることは、登下校の安全性が確保できて、嚶鳴小学校との2択しかないのであれば「賛成」という意見がある一方で、周辺の道路環境の対策が難しく危険、海上中学校周辺に建ててもらいたいという理由などから「反対」という意見もあり、意見が分かれる結果となった。

## 委員提案

### 統合校の位置：海上中学校北側農地

旭市学校再編基本方針では候補地としていない場所だが、委員より統合校の位置として提案があった。会議の中では、地域の中心辺りにあり、周辺に公共施設や公園があるため駐車場も十分確保できるという理由などから、多数の委員が候補地として望んでいた。

### 中学校の再編について

統合中学校の位置が基本方針に示される海上中学校ではなく、新しい場所での新築となった場合、空いた海上中学校校舎を統合小学校として活用することができるため、並行して中学校の再編を進めるべきではないかとの意見が委員より多数あった。

